

令和6年度 事務事業評価シート（二次評価）

※令和5年度に実施した事業を評価しています

□ 完了事業 □ ゼロ予算事業 ■ 評価事業 □ 実計事業

事務事業名 (中事業)	要介護高齢者・ひとり暮らし高齢者寝具丸洗い			予算事業名 (大事業)	在宅福祉
予算科目	03-01-05-12-03-00			会計区分	一般会計
事業期間	昭和55年度～			新規・継続区分	継続
事業区分	ソフト事業	費用区分	市費	重点事業	—
部名	福祉部			課長名	犬竹 幸喜
課名	高齢者いきがい課				

1 位置づけ等

総合計画	分野別計画	福祉・保健・医療			
	施策	05 高齢者福祉の推進			
		(目的) 高齢者が生きがいをもち、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせること。			
取組施策	03 介護予防・生活支援の推進				
個別計画名	なし				
根拠法令条項、 条例、要綱名等	川越市要介護高齢者・ひとり暮らし高齢者寝具丸洗い事業実施要綱			法令による 実施義務	無
補助金、 交付金要綱名等	なし			上乗せ 横出し	無
関連事業	なし				

2 事業の目的と内容

実施主体	市（全部委託）	対象（誰・何を対象に）	要介護高齢者又はひとり暮らし高齢者
事業目的 (対象をどのよう にしたいのか)	要介護高齢者又はひとり暮らし高齢者に対して寝具の丸洗いを実施することにより、高齢者の衛生と健康の保持を図り、もって高齢者の福祉の増進に寄与することを目的とする。		
事業の内容 (事業目的を達成す るために、具体的に どのようなことを行っ ているのか、また、 行ってきたのか)	<p>市内に住所を有する65歳以上の方で、川越市要介護高齢者手当の受給者またはひとり暮らしの者のうち、対象者及び同居者それぞれの市民税所得割額が非課税である高齢者に対して、年1回、敷布団・掛布団等の寝具を集荷・洗浄・乾燥後、引き渡しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請から交付決定まで 申請書を市に提出→審査のうえ、利用決定通知書を申請者に送付するとともに委託業者へ申請者の内容を記載した受領書を送付 委託業者への支払いまでの流れ 委託業者が受領証に記載された申請者へ連絡をし、日程調整のうえ、寝具等の預かり、丸洗い、引き渡しを行い、申請者から受領証を回収し、市に請求する。 		
事業実施の成果 (効果・予測)	高齢者の衛生と健康の保持が図れる。		
事業実施に あたっての課題	なし		

3 指標

成果指標	名称		単位	出典		目標年度	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	指標値	予定	—	—	—		—
	実績	—	—	—	—	目標値	
	単位当たり費用					—	
活動指標	名称		単位	出典		目標年度	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	指標値	予定	150	200	200		200
	実績	183	166	193	—	目標値	
	単位当たり費用		0	11.09	11.731	—	

4 他市との比較等

(1) 比較参考値（他市での類似事業の例など）
中核市において、寝具丸洗い事業と類似事業とも実施していない市は約半数を占めている。
(2) これまでの見直しや改善等の経過
なし ※類似事業の寝具乾燥事業は令和5年度をもって廃止。

5 実施にかかるコスト

(単位:千円)

		令和3年度(決算額)	令和4年度(決算額)	令和5年度(決算額)	令和6年度(見込額)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	分割金・負担金	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0
	基金	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	1,841	2,264	2,494
財源合計		0	1,841	2,264	2,494
人件費 (A)		0	800	800	800
	正規職員(1年間の従事人数)	0	0.1	0.1	0.1
	会計年度職員(1年間の従事人数)	0	0	0	0
事業費 (B)		0	1,041	1,464	1,694
	役務費	0	0	20	22
	委託料	0	1,041	1,444	1,672
	その他				
総事業費合計 (A) + (B)		0	1,841	2,264	2,494

6 評価

項目	評価結果	主な評価の視点	主な評価コメント及び課題等
必要性	C	法令等によりサービスが義務付けられている事業(○の場合はA評価)	× 市民ニーズ等により事業を見直す余地はある。
		国や他市と比較しサービス水準の見直しの余地がなく、他市で廃止・見直しが進んでいない	
		国・県で同種のサービスが行われていない、上乘せ・横出しの事業ではない	
有効性	B	総合計画の取組施策への記載があるか(○の場合はA評価)	△ 総合計画にある高齢者の生活支援の推進の目的達成に貢献している。
		施策の指標目標達成に関係があるか(○の場合はA又はB評価)	
		施策目的達成のために必要な事業か	
達成度	B	設定した活動・成果指標の目標(予定)を達成しているか	○ 令和5年度は予定していた200件に対して実績は193件であり、予定を概ね達成できた。
効率性	A	適切に直営で行っている。一部又は全部委託し、適切に委託を行っている。コスト削減の余地はないか(経費・人員・手法)	○ 適切に委託しているが、他市の事例等を参考にコスト削減を検討していく。
		受益と負担(補助)の適正化が図られているか	
総合評価	C	令和5年度に廃止した「寝具乾燥事業」の影響を踏まえて、市民ニーズを適切に把握すると共に、他市の状況も踏まえて、今後の方向性を検討する必要がある。	

7 今後の方向性及び今後の取組み(改善策など)

今後の方向性	改善
令和6年度	令和5年度に廃止した「寝具乾燥事業」の影響を踏まえて、市民ニーズを適切に把握すると共に、他市の状況も踏まえて、今後の方向性を検討する。
令和7年度	令和5年度に廃止した「寝具乾燥事業」の影響を踏まえて、市民ニーズを適切に把握すると共に、他市の状況も踏まえて、今後の方向性を検討する。